

鳥獸草木譚

162 雀孝行（イ）

親に孝行しなさいという意味で、昔話みたいに伝えたもんだと思うんですがね。雀と鶯とカワセミは三人兄弟ですね、旅に出て金儲けに行つたというんです。

そして、親が危篤という知らせを受けてですね、その、雀はそのままの着物で帰つてきたり、親の生きと死に間に合つて。そしたら、このカワセミのほうは、「せつから儲けに来たんだから、きれいな着物を着て行くんだ」と言つて、金儲けに励んで、危篤といつても行かんで、きれいな着物を着て帰つてくるまでには、親も死んでしまつて。

また、鶯のほうは、

「どうせもう危篤というんだから、行くまでには親は死んでいるだろう」と言つて、沖縄では、葬式では白い着物を着るという習慣がありますが、それで、白い着物を着て来たら、まあ、親の遺言ですね、雀には、お前は孝行したんだから米倉に行つて米を食べて生活

しなさい」と。そしてもう、鶯とカワセミには、「お前らは親不孝やつたもんだから、田に行つてものを食べなさい」といつて。雀のほうは米を食つて、カワセミと鶯は田をあさつたりして、たいへん食べ物に苦労したという、こういう話、よくやりおつた。

類話

字糸満 玉城マシ

字武富 長嶺トミ

字北波平 長嶺光子

字阿波根 長嶺仙助、平田徳太

字潮平 百次仁助

字兼城 大城キヨ

字豊原 国吉ツヨ、国吉マツ

字与座 賀数カメ

字真栄里 比嘉スエ

字宇江城 神谷ハル

字新垣 真栄里朝昌

字糸満 稲嶺盛亀

字伊敷 新垣カマド、新垣キク

字名城 伊敷義光

字小波藏 奥間ヨシ

字糸洲 神里カマ

字束里 上良ヒデ

字山城 新屋タ力

字大度 高嶺 正

字伊原 玉城ハル

下田ミツ（上里区）